

【開催要項】

コレクションによるテーマ展示

庭をながめれば

古来より人々はさまざまな「庭」をつくってきました。「庭」の環境や日当たりを気にしながら、そこに即した植物や樹木を植え育て集めました。「庭」は、いつでも人の手が加えられる場所として、そして、それゆえに人々の理想郷としての存在であり続けてきたのかもしれない。

一方で、ある限られた空間のなかに作られるという点からみると、「絵画」は「庭」にも似たようなもの、といえることもできましょう。本展では、当館コレクションのなかから画家たちの描いた「風景」を試みに「庭」という意識でみると、そこにどのような「ながめ」が見えてくるのか、また、画家にとって「庭」はどのような場所であったのか、それぞれの画家が「庭」をながめ描いたまなざしに思いを馳せてみたいとおもいます。

萬鐵五郎の土沢、湘南時代の風景画から、彼がみてきた土や砂によせた思い、木村荘八の自宅の庭の一隅がモチーフになった作品、川口軌外の滞欧期、息子と遊んだ郊外での一コマ、富本憲吉が「模様から模様を作らず」といって野外の草花に取材した自画自摺の木版画、その場所の空気を体感させる高山辰雄の作品、自然と芸術の関係性を静謐な線で表出させた若林奮の銅版画など、多彩な作品の数々を紹介いたします。

大川美術館の各階のフロアや窓、カフェやテラスからは、新緑の「庭」がたのしめます。移ろう「庭」をまぢかに感じながら、その館内で、描かれた「庭」をながめれば、どのような「庭」との出会いが待っていることでしょう。

■会期・会場

◇2018年4月10日(火)～6月17日(日)

月曜日休館(月曜祝日の場合は開館、翌日火曜日休館)

開館時間 10:00～17:00(入館は16:30まで)

◇公益財団法人 大川美術館

〒376-0043 群馬県桐生市小曾根町3-69(水道山中腹)

TEL : 0277-46-3300 FAX : 0277-46-3350

URL : <http://www.okawamuseum.jp> E-mail : okawa-m@theia.ocn.ne.jp

■主催等 主催：公益財団法人 大川美術館

■主な出品作品

熊谷守一 (1880-1977)	白ばら	1940 年以後	油彩・カンヴァス
間部時雄 (1885-1968)	鶏の遊ぶ農家	1905 年頃	水彩・紙
富本憲吉 (1886-1963)	木版「富本憲吉模様」より	1915 年	木版・紙
萬鐵五郎 (1885-1927)	土沢風景	1915 年頃	油彩・カンヴァス
高山辰雄 (1912-2007)	爽映	1965 年頃	紙本彩色
川口軌外 (1892-1966)	息子・京村のいる風景	1927 年頃	油彩・カンヴァス
三岸好太郎(1903-1934)	風景	1928 年頃	油彩・カンヴァス
大澤海蔵 (1906-1971)	庭	1930 年	油彩・カンヴァス
小野里利信(1912-1986)	雨後	1939 年	油彩・合板
木村莊八 (1893-1958)	朝顔	1939 年	油彩・カンヴァス

全約 40 点

■入館料

※4 月 22 日(日)は入館料無料。(4 月 20 日が開館記念日のため)

※5 月 5 日(土・祝)は子供の日のため小中学生とその同伴者は無料。

・一般 1000 円 高大生 600 円 小中生 300 円

※20 名以上の団体 20%割引。※身体障がい者手帳等をお持ちの方、および付き添いの方 1 名は 50%割引。※65 歳以上の方は 20%割引。※中学生以下と同伴の保護者は 2 名まで 50%割引。※毎月第一土曜日(桐生市内・桐生天満宮古民具骨董市および買場紗綾市開催日)は入館料 20%割引。※震災で避難されて来られた方は入館料無料。

■交通のご案内

◇【電車利用(東京方面より)】

・東武浅草駅より、伊勢崎線赤城行き「特急りょうもう号」で新桐生駅まで約 100 分(北千住駅より約 90 分)。駅よりタクシーで約 10 分。

◇【電車利用(栃木、群馬方面より)】

・JR 桐生駅より徒歩約 15 分。・上毛電鉄西桐生駅より徒歩約 10 分。※途中、急な坂および階段あり。

◇【自動車利用】

・北関東自動車道、太田・薮塚 I.C.または太田・桐生 I.C.より約 25 分。
・東北自動車道、佐野・藤岡 I.C.より約 60 分。

■関連事業

・「ボタニカルアート入門」

講師：下田佳代子 (植物画家)

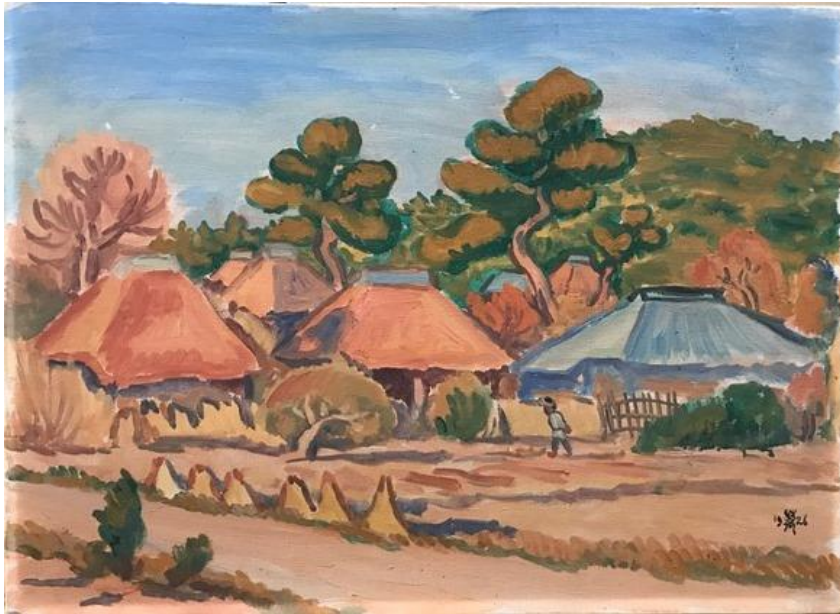
日時：5 月 19 日(土) 14 時～15 時 30 分 会場：大川美術館 レクチャー室

・「ミニコンサート」

ヴァイオリン：菊地 理恵

日時：6 月 16 日(土) 12 時～12 時 50 分 会場：大川美術館 レクチャー室

※いずれも要申し込み。入館料のみでご参加いただけます。



萬鐵五郎(1885-1927)《風景》1926年 33.2×45.3 cm



川口軌外(1892-1966)《息子・京村のいる風景》1927年頃
油彩・カンヴァス 60.6×72.7 cm



小野里利信(1912-1986)《雨後》1939年 油彩・合板 53.0×45.5 cm



熊谷守一(1880-1977)《白ばら》1940年以後 油彩・カンヴァス 33.3×24.2 cm



高山辰雄(1912-2008)《爽映》1965年頃 紙本彩色 39.2×56.0 cm



若林奮(1936-2003)《版画集『境川』より》1966年
エッチング・ドライポイント、紙